



Step 7 意見交換会

各県ミックスのグループをつくり、日頃の自分たちの活動について意見交換をした。途中でレストランに移動し、グループ毎に昼食タイム。四国各県名産の食材が入った鍋に舌鼓を打ちながら様々な話が出て、それぞれ今後の活動目標を立てる参考になったようです。



Step 8 決意表明!

前日の江上氏の講演を受けて、**地域を元気にするために個々が目標を持ち、一人ひとり発表しよう!**その成果を1年後集まった時に報告しよう!



進行・コーディネーター 矢部拓也氏

●有言実行! 団員を増やそう~!



●どこかに行つたときは必ず1人とはメール交換するぞ~!

●家族を大切にしよう~!

●婚活イベントをやるぞ~!

●彼女と結婚するぞ~!

●毎日ハガキを1枚書こう~!

●3年間続けた団長を次の人に譲るぞ~!

●週1回役員と連絡を取るぞ~!

●来年100人で高知で会うぞ~!

●酒に強くなるぞ~!

●年に1回は他の団体とリンクするぞ~!

●もっと地元のことを知るぞ~!

●県の青年大会、四国ユースフォーラムの参加者を増やそう~!

●仲間を作ろう!

●死ぬまで青年の気持ちを忘れないぞ~!

○目標を全員の前で発表した参加者たちは、まずは自分を信じて行動をおこしていくことになりました。「信じる力」を持ち続け、その成果を1年後にこの場で、発表したいと思います。

参加者 VOICE

- 自分にとってプラスになった。
- 今後の生活・活動に役立つよい機会であった。
- 友達が出来た。
- 反響が出来る。
- 参加しやすく、内容があった。
- とてもよい刺激を受けた。
- なんとかなるということ。人間っていいなと思った。
- 事業が若干長過ぎる気がした。
- 充実してよかったです。
- 同じ仲間、すばらしい教授にめぐりあえてよかった。
- 1日目のレク等の時間が長かった。
- つながりを大切にしたい2日間でした。
- 新しい発見/目標が出来た。
- いろいろな人の話を聞いて、視野が広がった。
- 人脈が広がった。

幹事 VOICE

- 青年活動の現状や課題を共有することで、自分や地域の将来像を具体的にイメージできた2日間でした。
- 反省点が多いが、参加者に何ができるものがある、それが大成功だと思う。
- 私たちの熱い思いは参加者に届いたと思う。
- 思ったことを言葉にすることが大切だとわかった。
- 他の青年団体の活動発表を聞くことができるなど、とても身になることが多かった。私たちの活動にもぜひ取り入れていきたい。
- いろいろな考えのより行動することが大切だということを変更して確認できた。

国立大洲青少年交流の家の思い

この事業は、青年の育成という青少年交流の家(旧青年の家)の原点に立ち戻った事業です。四国の中核的施設として**我がふるさと=四国を仲間と一緒に元気づけたい。そんな若者を育てていきたい**と四国の青年団と一緒に計画してきました。

4回目である今年も徳島県青年連合会のスタッフとともに事業を作り上げました。「4年で四国を一周しよう!」と3年前に始まった本事業は、**幹事県の青年団がそれぞれの持ち味を出しながら、バトンをつないできました。**この4年間で、青年団や地域の活性化のために活動している大学生など、**青年団体同士の絆を強くすることができました。**また、本事業の運営を経験したことが、後の**地域での活動により積極的に関わること**ができた人もいました。

さらに、四国各県の教育委員会の方々をお招きし、事業評価をしていただくことで、**関係諸機関との連携も深めることができました。**4回を終え、本事業は「これで一段落」つける予定でしたが、四国の若者達の強い要望もあって、**来年も「四国から発信」を継承し、自分たちの活動について語り合うことになりました。**来年以降の事業のあり方や運営方法など、今後解決していく課題もたくさんありますが、これからも**多くの若者と協力して事業をより活気のあるものにしていきたい**と考えています。



現代版 四国ユースフォーラム



生まれ育った地元が誇りやけん!! 地元イキイキ、みんなが主役!!



第4弾 終了! 来年も集いましょう!

2007年にスタートして4年目、**完結!**?かと思いきや...
感動講演**信じる力が大きな可能性を!**自分にできること
まずは**行動!**幹事は徳島、元気に**阿波踊り~情報交換会。**
四国から**熱い発信!**各々の**決意表明で次回につなぐ!**

今回の参加者は**33名**でした。

1日目	13:00 受付	13:30 開講式	14:00 アイスブレイク	15:00 スポーツ交流	16:30 講演「信じる力」 by 江上光治氏	18:00 夕食	20:00~ レクリエーション「阿波踊り」で交流を深めよう!	21:00~ 情報交換会
2日目	6:30 起床・朝食・清掃	8:45 朝のつどい	11:30 ⑥ 四国四県からの発信	13:00 ⑦ 意見交換会	14:00 ⑧ 鍋で交流会	15:30 ⑨ 決意表明大会	16:00 閉講式	

●申し込み・問い合わせ

国立大洲青少年交流の家

〒795-0001 愛媛県大洲市北只1086
TEL:0893(24)5175 FAX:0893(24)2909
URL:http://ozu.niye.go.jp/

4年目 四国一周 Vol.4

Step 1 アイสบレイク

(by 徳島県青年連合会)

新たに集う仲間との出会いの時間。レクリエーションで緊張をほぐしましょう!

各自が好きな食べ物を紙に書く。自己紹介の後、5つの質問をして、相手の好きな食べ物を予想。当てることができれば、相手の紙をもらえる。最後に一番たくさん紙を持っている人の勝ち! ゲームを続けるうちに、だんだん参加者の表情も和らいできました。

好きな食べ物は何色? 長いものは?

Step 2 スポーツ交流

徳島県チーム VS 香川・愛媛・高知連合軍で対戦。綱引きや長縄跳び、キャッチ・ザ・スティック、ベントボール転がしなどで、盛り上がりました。どちらも即席のチームでしたが皆で作戦を立てたり、試したり、**チームワークは抜群!**

緊張がほぐれて良かった。
●知らない人と自然にとけこめた。
参加者 VOICE
▼ちょっと長過ぎたのでは?

Step 3 講演

信じる力

江上 光治 氏

池田高校の黄金期に主将を務め、甲子園夏春連覇も成し遂げるなど、華やかな野球歴を持っている江上氏だが、最初から才能に恵まれた野球選手ではなかったそうである。しかし運よく高校1年の時からレギュラー格に抜擢された。その期待に応えるために毎日深夜まで必死にバットを振り続けた。やがてその姿が周囲を刺激。「やまびこ打線」のもとをつかった。

Step 6 4県6グループそれぞれの活動

YGP 愛媛

(八幡浜元氣プロジェクト)

八幡浜を元気にするプロジェクト
～人の元気をまわすの元気にする～

めざせコーディネーター

高校の生徒会が母体となって発足したYGP。多様なプロジェクトを組んで活動している。自分たちがそれぞれの活動を**楽しむこと**で、八幡浜の人を元気にしたい。地域のコーディネーター役をしたい。中心メンバーが少なく、基盤が弱いのが悩み。

高知 土佐清水市 連合青年団

出張サンタ

サンタさん体験してほしい。

出張サンタが始まった経緯やその仕組み、苦労話や報われた話など。毎年プレゼント配達希望人数の増減があるが、事業が地元で10年以上根付いている。「いつか自分たちがプレゼント配達をした子どもたちが出張サンタをする立場になって欲しい。」という思いで頑張っている!

コメンテーター VOICE

田嶋康氏 (香川県教委) / 田井通臣氏 (愛媛県教委) / 小笠健二氏 (徳島県教委)

「地元を愛していると感じました。」「大変すばらしい!」とお誉めの言葉や、笑いをさそうユニークな時の評価など、大いに発表者の励みになった。次のフォーラムでぜひ実現した事を発表して欲しい、とよいプレッシャーと共に次につながる手がかりももらった。

四国青年 NGO HOPE 愛媛

四国のHOPE ~青年から四国を!!~

四国の青年を活性化したい!

「四国青年NGO HOPE」の組織や事業について流暢に発表。「青年の現状は今こうだから、こうしたいと思っている。」など、**青年の現状を踏まえ、目的やそれを達成するための手法を明確に示す**ことができていた。「四国を活性化したい。それが出来たら日本を活性化したい」という思いを持っている。

徳島 那賀町 青年団

愛する地元の為に僕ら出来る事

キャッチフレーズは「元氣」と「絆」

郷土の伝統に若者が取り組む「丹生谷清流座」(人形浄瑠璃)、煙火組「相生龍青團」(吹筒花火)の取り組みについて発表。**若者から刺激を受け、お年寄りの煙火組が復活している**。今後は人形浄瑠璃と吹筒花火のコラボをしたいと考えている。

全体指導者 VOICE 矢部拓也氏 (徳島大学総合科学部准教授)

矢部氏より「質の高い発表だった」とのコメント。そして、発表のあった6団体の活動の位置づけを座標軸で説明。参加者は、質疑応答も含め、自分たちの活動の立ち位置がよく分かった様子であった。

Step 4 阿波踊り

(by 徳島県青年連合会)

「人間知恵の輪」で緊張をほぐした後は阿波踊り。徳島県青年連合会指導のもと、グループで男踊り、女踊りの練習。全員で輪になって踊りました。

初めは恥ずかしそうでも、だんだん阿波踊りの魅力にはまっていき、**最後は大いに盛り上がりました。**

一番上達した参加者にはすだちくんTシャツプレゼント!

香川 香川大学 野外活動部

私たちの活動

「ヤケン」で何でしょう?

部の主な4つの活動を紹介。「野研(通称)をやったことばかりだった。始めたことを後悔したことはない。自分たちがやりたいから動いている。」という言葉が印象的。

徳島 鳴門教育 大学BBS会

僕たちの活動

子ども達から教わることも多い

「鳴門市子ども学園」の子ども達と「兄」「姉」のような身近な存在として、一緒に遊んだりする事業やスポーツ交流会・陶芸教室(一保護観察所と連携した事業が主な活動)活動がワンパターンになっているのが問題。活動の幅を広げるべく、**高齢者や青年団との連携にも務めている。**

参加者 VOICE

- 発表は緊張しました!
- 皆上手に発表していると思う!
- 言いたい事がよく伝わっていた。
- よその活動が良く分かった!
- 発表して良かった!

Step 5 情報交換会

いつまでも話は尽きず...自分たちの活動のこと、青年団体の将来のこと、今後の「四国コースフォーラム」のこと...アドレス交換をしている人、話し疲れて寝てる人...

この夜で、**みんな本当に仲良くなりました。**

参加者 VOICE

- 飲み過ぎました...
- 楽しかったです。
- 遅くまでしゃべり、眠いです。



目標があっても、何をしたいのかわからない時は、**まずやることを決めて、それをずっと継続することが大切。**

小さいことでもやり遂げれば、目標は達成できるという「信じる力」を持ち続けて欲しい。まず、自分を信じて行動をおこして欲しい。

○参加者は、江上さんの力強い講演に聴き入っていました。心に強く響く講演でした。

参加者 VOICE

- 感動しました。
- いい話が聞けて良かったです。
- 胸打られました。
- 仲間を信じる力、大事と思いました。